

江北町

議会だより

No.161

令和3年
12月定例会

令和4(2022)年2月1日発行

白木パノラマ孔園から見た、初日の出



CONTENTS

- 一般会計補正予算事業内容
- 一般質問（8人）
- 各常任委員会Q&A
- 行政視察研修／条例改正
- 編集後記

今年の初日の出、素晴らしいお天気で
新年を迎えることができました



町の木：モチノキ



町の花：スイセン

一般会計 補正予算事業内容

(1) 駅北口トイレ改修事業

新型コロナウイルス等感染症予防の観点から、不特定多数の人が利用する駅北口トイレ改修を行い、公衆トイレでの感染リスクを軽減する。また、女性やバリアフリーの視点を取り入れ、誰もが安全・安心に利用できるトイレ空間を確保する。

誰もが”安全・安心に利用できるトイレ空間”づくり

— 駅北口トイレ改修 3つのポイント —

① 清潔・きれい

『ウイルス感染対策』



② 快適さ

『女性が利用しやすい』



③ バリアフリー

『不平等が生じないような配慮』



新たに導入予定の設備



※ 実際の製品と異なる場合があります。

(2) 新型コロナウイルスワクチン接種事業

令和3年12月より、新型コロナウイルスワクチンを2回接種後8か月経過した方から、順次3回目接種が開始されることに伴い、接種に係る委託料等について予算計上する。

〔3回目接種対象者〕 令和3年12月以降に3回目接種に該当する方

R 3.11.25 現在	令和3年度接種対象者（人）					計
2回目完了月	R3.3月	R3.4月	R3.5月	R3.6月	R3.7月	
3回目接種開始月	R3.12月		R4.1月	R4.2月	R4.3月	
人数	9	126	412	1,462	1,822	3,831

※ 接種券は、2回目接種から8か月経過する月の前月に発送予定

〔5歳から11歳対象者〕 657人 ◆早ければ令和4年3月頃から接種となる

年齢	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳	11歳	計
人数	98	100	90	90	92	111	76	657

かねまる ゆうき
金丸 祐樹

議員



給食センターの老朽化について

こども教育課長 予算の範囲内で早急に対応していく

議員 給食センターは平成13年に増改築されてから20年ほど経っている。施設内の設備もかなり劣化していると聞いているが過去5年間で機器の故障や設備の破損状況は。

こども教育課長 平成28年度から令和2年度までの5年間で166件。

議員 毎年多数の修理箇所があるが、厨房内の機器の破損や床のゴムシートの劣化等異物混入になりかねない。未然に防ぐようにチェックや、張替えはできないか。また、天井の雨漏りも修理されているが、衛生的にもよくない。早急な対応を。

こども教育課長 予算の範囲内で早急に対応させていきたい。また、計画的な点検、修繕の計画もはつきり立てていきたい。

議員 厨房設備の日々の管理はどうしているのか。

こども教育課長 調理用器具、食器、温度管理等、日常、チェックシートを用いて記載している。天井、床、ドア、照明などは、必要に応じて点検をしている。

議員 調理器具等については、現在センター内の調理者がチェックしているということだが、天井などの施設の劣化に



厨房床のゴムの剥がれ

ついては業者を入れて総合点検していただきたい。

こども教育課長 予算の範囲内で早急に対応していく。

ふるさと納税について

地域振興課長 一生懸命やられている市町等を参考にし、しっかりと取り組んでいきたい

議員 今年3月にふるさと納税業務委託事

業者のスチームシップと契約し、昨年に比べかなり寄附額が伸びていると聞いている。昨年と今年の寄附額の推移を知りたい。

地域振興課長 【さとふる】については、昨年1億1,096万7千円が本年度は1億1,813万5千円、6.5%の増。【ふるさとチョイス・楽天】については、昨年度2,758万9千円、今年度は、1億2,051万4千円で436.8%の増となっている。

議員 スチームシップと担当課との連携・協議はされているか。

地域振興課長 毎月サイトの運営状況、実績の報告、寄附の動向分析、返礼品の造成に関する検討等行っている。

議員 協議をしているとのことだが、スチームシップに伺っ

たところ、しっかりとした会議等が行われていないように思う。研修室等で他の市町も研究しながらやっていただきたい。

実際、町のふるさと納税の返礼品ページについては、他市町と比べ遅れをとっており、ランディングページやリンク作成も業者間での有無がある。年末に入る前にしっかりと準備が出来ていれば、もっと寄附金額が伸びていたと思う。本町の職員もスチームシップに対して素早い対応を促し、また、スチームシップに任せただけではなく職員自身もふるさと納税に精通してほしい。

地域振興課長 一生懸命やられている市町等を参考にし、しっかりと取り組んでいきたい。

西九州新幹線、令和4年秋の暫定開業に向けた町の取り組みは

町長 肥前山口駅JR特急便停車の要望は機が熟した時に1万人署名運動を行いたい



井上敏文 議員



資料：佐賀新聞

議員 西九州新幹線ルートの新鳥栖〜武雄温泉間の未整備区間については、現在、佐賀県と国土交通省との間で幅広い協議がされている。この協議においてフル規格で整備した場合、長崎高速自動車道沿い、佐賀駅経由、佐賀空港経由の3ルートが提案されて

いる。県民もこの新幹線ルートについて大変注目しているが、このことについて町長の感想は。
町長 協議の内容については本町も当事者として思っており、今後の動向について注視していきたい。
議員 令和4年秋にも西九州ルートが暫定

開業となるが、暫定開業後は肥前山口駅に停車する特急の便数が減るのではないかと危惧されている。

以前、町長は「1万人署名運動で肥前山口駅JR特急全便停車」を公約に掲げ、これについて質問した時、町長は「情報を収集しながら機が熟した時に1万人署名運動を行いたい」と答弁。秋にダイヤ改正が行われるが、町民の意向をJRに訴えるためにも今後どのような取り組みをされるのか。

町長 暫定開業に合わせ町としても様々な駅の利活用、駅の活性化をやっていく必要がある。また、肥前山口駅は長崎本線と佐世保線の分岐の駅、結節点でもある。1万人署名は時機を見てJRにアピールしていきたい。

県道多久江北線バイパス整備に伴う地域振興策は

町長 乱開発を防ぐために沿線の土地活用について検討していく



県道多久江北線バイパス要望箇所

議員 上小田地区の町道門前〜観音下線の整備工事が国道34号線の元魚市場があった観音下の交差点から町道新宿石原線までの483mが平成28年度に完成した。更に門前地区までの830mについては現在の県道多久江北線のバイパス

とし、現在この区間については現地調査に取りかかっている。本町は交通の要衝の地であり、この地の利を活かして県道多久江北線バイパス整備に伴い企業誘致、また国道34号交差点近くに「道の駅」構想を立ててみてはどうか。その他にも振興策はあると思うが、具体的な計画の取り組みは。
町長 工業団地、「道の駅」等は相当な投資が必要となる。乱開発を防ぐためにも道路の事業化が見えてくれば沿線の土地活用については一定の方針を出すつもりで検討している。

坂井正隆
さかい まさたか



議員

町道門前～観音下線(多久江北線バイパス) 今が工場誘致の絶好のチャンス

町長 具体的な活動を再開するための情報収集と、セールスを増やしていきたいと思う

議員 門前～観音下線は平成29年3月に487メートルの供用が開始された。当時、岩屋団地跡が企業誘致の最適地として、新潟市の佐藤食品工業まで、町長はじめ、我々議員10名で米飯工場誘致に向けて、陳情を行った経緯がある。

町長 その後、米飯工場は別の所に誘致され、その後は進展もないままの現状である。

議員 町道門前～観音下は、町が企業立地を調査し、県道多久江北バイパス促進期成会が設立され地元県議の後押しもあり、県の方で測量をしていたということになった。

町長 コロナ禍のなかでテレワーク、いわゆる自宅での仕事、ホームワークが多くを占めるようになり、一つの社会現象となっている。こういった状況によ

り、パック詰めご飯の需要が多く、生産が追いつかない状況があると聞き及んでいる。

議員 今が工場誘致の絶好のチャンスだと私は考えている。是非とも工場誘致については再度、新潟まで陳情に行く考えがあるのか伺いたい。

町長 今から6年前3月議会が終わってすぐ、対外的に初めてお会いしたのは、佐藤食品の佐藤社長であった。新潟まで出向き、佐藤社長に就任の挨拶に赴いた時が始まりであった。

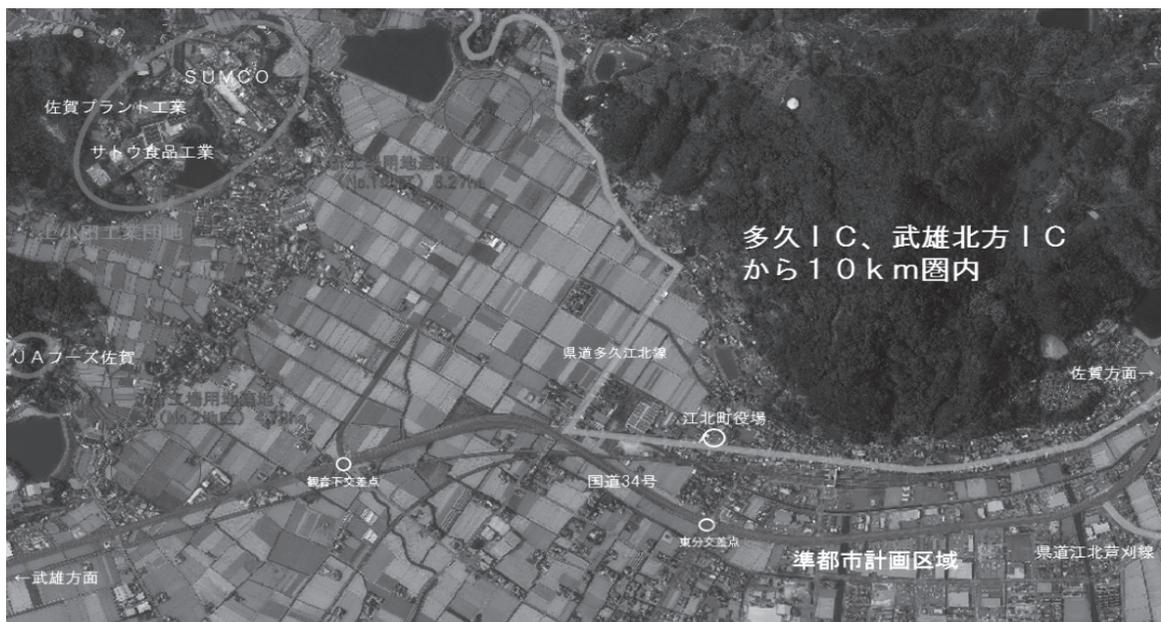
議員 前町長時代に議員の方々も一緒に新潟にも行かれたということも聞いている。

町長 前町長が何かの時に、やり残したことはと聞かれた時に、佐藤食品さんの米飯工場誘致ということを言われたという事も聞いていたため、ぜひ実現に向けやっていきたい気持ちから、いの一歩に佐藤社長にお会いした。

これから町としても、また、前町長のお気持ちとしても私は受け止めてさせていただいているので、私なりのやり方で取り組みをしているつもりである。

議員 県道多久江北線バイパス、町はこの計画を活かして特に企業を誘致する具体的な計画。また、小田地域、江北町北部発展のためにも、この地域の事業計画の実現を願うが、今がそのグットタイミングではないか。

町長 先ほどから話に出ている、県道多久江北線のバイパス事業が決まったわけではなく、一つの要素としてあるのだろうと思っている。具体的な活動を再開するための情報収集と、セールスを増やしていきたいと思う今



県道多久江北線バイパス、この計画を活かした企業誘致を望む

開するための情報収集と、セールスを増やしていきたいと思う今

が、タイミングという意味でいけばタイミングだろうと思っている。

三吉紀美子 議員



空き家問題における不良度判定委員会の構成は

基盤整備課長 有識者を含めた協議会の設置を含め条例について整理し、空き家問題の解決に向けて推進を図る

議員 今後、このように高齢化問題、一括寄付問題等の話が多くなる可能性が考えられる中、対象が個人財産であることから多くの専門家等の意見を伺う機会が多くなる。検討課題が発生してからの対応ではなく、専門家、地元の方々等で構成し、スムーズに対応すべきではと思う。

空家等対策の推進に 関する特別措置法第7条、協議会は市町村長の他、地元住民、市町村協議会議員、法務、不動産、建築、福祉、文化等に関する学識経験者その他市町村長が必要とするものをもって構成するとあるが、我が町の考え方を伺いたい。

基盤整備課長 江北町空き家等不良度判定委員会の構成員は4名で構成。委員会では立ち入り調査を行うか否かの判断、空き家等

が不完全な状態であると認める判断、助成を行うか否かの判断をしている。この判断をする過程で、法律関係、不動産関係については、弁護士、司法書士、土地家屋調査士、建設業関係者等の意見を参考にし、委員会でも不良空き家に対する対応方針を決めている。

今後、有識者を含めた協議会の設置を含め、空き家等の適正管理に関する条例について整理し、空き家問題の解決に向けて推進を図っていききたい。

空き家の処理状況は

基盤整備課長 問題となつている内容に助言を行い、解決を図りたい

議員 昨年の台風時期、近隣の方から屋根のトタンが外れ危惧し

ていると届けられたらすぐ現地調査に来て頂き、悪い状態を確認して貰ったとの対応に有難く思っていたら、10月末、問題処理ができていないとの話が届いた。昨年現地確認された以降の経過説明を。

基盤整備課長 平成26年10月地元区長から空き家の立ち入り調査依頼、同年11月管理不全な空き家と判定。令和2年8月所有者の相続人と連絡、9月役場に來られた折、屋根等の応急修理を町から依頼。解体と土地の売却を検討中だが、相続手続きに時間がかかると説明を受けた。問題となつている内容に助言を行い、解決を図りたい。その間、条例に追加した緊急安全措置に基づいた措置も視野に入れ見守っていく考えである。

議員 助言、指導につ

いて町長の考えは。
町長 安心安全の観点から新たな措置としての緊急安全措置ができる

道路を覆う樹木の取り扱いは

基盤整備課長 土地所有者へ通知し、適正管理を促している

議員 樹木等が道路を覆い危険を感じることもある。樹木の管理について隣接土地所有者へ行政として指導は行えないのか。軽自動車でも樹木、特に竹が道路を覆うと雨の日には更に低くなり、フ



樹木が覆いかぶさっている道路

るようになったので、そうした事も辞さない構えで先方の整理事態に助言、指導をする。

ロントガラスにも当たり、落ち葉でスリップする危険も増すとの声が届いた。高齢化が進み樹木の管理が難しくなっている昨今だが、樹木の管理指導を行えないか。

基盤整備課長 土地所有者へ通知し、適正管理を促している。区長会、広報で啓発を行った。

議員 ビッキーの看板について、半分隠れて意味ないのではないか。

総務政策課長 土地所有者の方と協議中である。

池田和幸
いけだかずゆき



議員

議会ICT化に向けたタブレット導入は

町長 議員の総意と完全なペーパーレス化、負担の問題の整理が導入への課題

議員 タブレット端末導入の目的は、ICTシステムを導入し、その利便性を生かして議会機能の強化を推進すること。強化は、議会の活性化や議員の資質向上、議会運営の効率化等が挙げられる。

執行部側は、ペーパーレス化することで、準備に係る作業や用紙代などの費用等の経費を削減できる。

ペーパーレス化した場合の経費削減額は、

総務政策課長 3月議会では、当初予算書及び議案書等で約38万円。9月議会では、決算書等の経費で約50万円。6月・12月は1万円程度の費用で、年間では概算で100万円程度の経費がかかっている。

議員 議会と行政がタブレットを導入することで、電子データへ

の移行が進み、庁内会議もペーパーレスへと移行が進むと思うが。

総務政策課長 完全にペーパーレスになれば、削減の効果は十分にあると思う。

議員 ペーパーレス議会の導入により、資料作成に関わる職員の作業時間が軽減される。また直前の修正や訂正を行うことが容易になり、会議等の効率化が可能となるのでは。

総務政策課長 職員の作業負担とか、直前の修正等は軽減されると思う。

議員 ICT化は緊急時に大きな効果を発揮する。災害情報等で、町民の方への情報開示が早くできるのでは。



利便性を活かせるか、タブレット導入

町長 今年度から町独自の防災アプリを開発し、町民の方に活用して頂いている。ICT化は、町の安全・安心の向上につながると思っている。

議員 タブレット端末を用いることで、添付する図や写真等を拡大して詳細にチェックすることが可能、今年の豪雨災害箇所への対応やハザードマップを表示しながら、避難

指示等が分かりやすく伝達できるのでは。

総務政策課長 会議資料、現場の写真等をカラーで確認できること、またハザードマップも一緒に確認できることは、紙ではできないことだと考えている。

議員 議会ICTによつて、地域とのつながりも強化される中、議員としても導入のために積極的な活動を行う必要があると思う。執行部と共有しながら実現に向けて進みたいと思うが。

町長 議会として一定の意思決定をして頂き、予算請求に対して予算査定を行い、色々議論をさせて頂く。

課題の一つは、議員皆さんの総意で、議会全体としてタブレットを導入するということが前提。二つ目は、完全なペーパーレス化。

三つ目は、負担を含めた必要性だと思う。

タブレット導入となれば、我々執行部は、課長以上は必要であり、導入まで一緒に勉強させて頂きたい。

議員 議員としても、どういふものをまず取得し、1年以上は勉強をしながら把握していく。町民の方にその場で情報伝達ができるような活用が望まれると思うが。

町長 ICT化は進めるべきと思っている。タブレットを導入し、活用していく合意と、どういふ使い方をするかというルールを決めていき、仕事のやり方を変える決意ができれば、導入してもいいと思う。ルールをきちんと決め、住民の皆さんにも理解をして頂く必要があるの、執行部と一緒に研究をしていければと思う。

豪雨災害に対する対策・対応等は



ふちかみまさあき
 瀧上正昭 議員

町長 新しい時代の総合排水計画を令和3年度中に策定する

議員 協議会を立ち上げ、農業用ため池の防災対策を含め、町全体における排水計画を令和2年の雨季までに策定すると答弁されていたが、協議会の名称と現在の進捗状況は。

総務政策課長 協議会の名称は、江北町冠水被害軽減対策会。また、まとまった雨量が見込まれる場合は、各水路の代表者に事前落水をお願いしているが、これは応急的な取組みで、総合的な排水計画になっていない。

町長 鉱害復旧事業に伴い策定された排水計画は農地の効用回復を目的とされたものであり、その当時と比べ気象状況も全く違い、土地利用状況も大分変った。これからの町の安全・安心を確保するためにも河川改修、強制排水、事前排水、内水氾濫対策、



大豆圃場の冠水状況

不要湛水の低減を含めた新しい時代の総合排水計画を令和3年度中に策定する。

議員 令和3年8月豪雨で大豆に被害が出ている生産農家に町独自の応援等ができないか。

地域振興課長 本町の大豆の被害面積は277haで、令和元年の被害面積15haと比べて約18倍となっている。これは冠水・浸水時間が長かったことにより、生育途中の株枯れや開花不良など二次被害も多く発生し被害が拡大している。実入りが悪く、収穫が全く見込めない圃場も多く発生している。

県では、大豆の次期の種苗に対する支援が計画されているので、町としてもこれに乗せする形で支援をしたい。

町長 給付ということだけではなく、もう一度制度を確認し熟知した上で、我々にやることを、あまり時間を置かずにしつかり動きたい。

JR長崎本線橋梁付近の堤防高不足の防災対策

町長 国も今、恒久的な対策を検討しているので、訓練の申し入れをする

議員 橋梁付近の堤防高が東西にそれぞれ約25m、計画高より1.2mほど低い。このことから、六角川が増水し、堤防を越水する時の防災対策として、国は、東西に土のうを置いている。国の事業化



長崎本線橋梁付近の堤防高不足

が進まない中、早期の土のう積み訓練を実施するよう強く要望していただきたい。

総務政策課長 大型土のう積み訓練について、改めて国に要望をする。

町長 国も今、恒久的な対策を検討していると聞いている。しかし、それまでは、暫定処置として土のうを積みこたになつているので、国に申し入れをする。

農地農業用施設の災害復旧事業に係る受益者等の負担割合の軽減は

基盤整備課長 県の負担がないので、県に呼びかけをするなど町として考えていきたい

議員 激甚災害の指定を受けた農地災害復旧は、個人、関係者の負担費をなすとす。また、通常災害及び町単独費で施工する事業の場合、農地、農業用施設災害復旧費の負担を1割程度にできないか。

基盤整備課長 農地農業災害復旧事業の受益者の負担は、県内の町の中では低い。しかし、中山間の方で、農地災害で負担金を払ってまでも農地復旧はしないという話は聞く。国庫が2分の1で、県の負担がないので、負担軽減につながるよう県に呼びかけをするなど町として考えていきたい。



石津圭太 議員

スポーツ推進条例の制定を!!

町長 目標を決めて教育委員会も作業を進めてもらいたい

議員 6月の一般質問でスポーツ推進条例の提案をした。町制70周年に向け、また佐賀県で開催される国民スポーツ大会に向けて、町民の機運を高めるためにも、町として必要と考えているのか再度問いたい。

こども教育課長 県ではスポーツ推進条例を制定した市や町はなく江北町が最初に提案できればと思う。

議員 文化面も含めて再度検討し、来年にも議員提案を進めていく。

町長 町のスポーツの町宣言は10月10日、かつての体育の日付で宣言されている。町制70周年の10月10日施行というような目標を決めてやっていく必要がある。新しい時代にならばとわしい条例になればと思うし、当事者として教育委員会も作業を進めてもらいたい。

小学校のバックネットの建て替えと管理者の所在は

こども教育課長 将来的には建て替えを勧められている

議員 2年前に小学校のバックネットの改修について質問をした。傷んでいる箇所は早急に対応してもらった経緯があるが、建て替えは老朽化も進み、耐用年数も経過しているので、順序を追って検討すると返答。2年が経過し、耐用年数も過ぎ、年々危険性は増すばかり。バックネットの管理の所在と現在の考えの2点を聞きたい。

こども教育課長 今年度、改めて業者に支柱の確認を依頼した。今すぐ倒壊のおそれはないが将来的には建て替えを勧められた。バックネットの設置者については判明していない



小学校のバックネット

が、安全管理は教育委員会が定期的な点検と補修、改修を行っている。

議員 耐用年数、耐久年数、どちらも経過している状況で『将来的には建て替え』とは事故が起ってからの事故が起ってからの事故が起ることなのか、支柱が壊れてからということなのか。ネイブルのバスケットボードは事故が起る可能性があるから取り替えている。

バックネットの方が古いし危険性も高いと思われるが後回しにしているのは何故か。2年前に質問をしたが、現状、何も進んでいない。

教育長 教育委員会が抱える施設も非常にたくさんある。決して後回しにしてはいない。緊急を要するものについてはしっかりと対応していきたい。

町長 危険なものが町の管理する施設の中にあるのなら安全を確保するためには撤去するということになる。老朽化して危ないものであれば、教育委員会として管理していく。

小学校のグラウンドに照明の設置を

こども教育課長 学校施設の利用時間は規則で日没までとなっている

議員 日が沈んでくると危険なため小学校のグラウンドに照明設備を設置できないか。

こども教育課長 学校施設の利用時間は規則で日没までとなっているので各部活動にも指導していきたい。

議員 利用規則を日没までではなく、時間にすれば照明設備の設置は可能ではないか。規則を変えることはできないか。

こども教育課長 規則の見直しは考えていない。

町長 逆に時間で決めた方がいい。規則は改正しなくてもできると思う。1年間同じ時間にする必要はない。ルールをきめることで、とにかく安全を確保することが大事。

こども教育課長 関係団体と話し合いたいと思うので時間が欲しい。

駅の駐輪場に、自転車用スタンドの設置を



江頭義彦 議員

基盤整備課長 スタンド以外に方法があるか検討したい

議員 駅の自転車駐輪場は、清掃も含め、管理は誰が行っているか。

町民生活課長 清掃については、月に1回、町内の有償ボランティアの方が行っている。雑草は、5月と8月に職員が草刈りを行っている。さらに、県下一斉ふるさと美化活動は、地域住民、各種団体の方々、役場職員による駅南周辺の清掃を行っている。駐輪場の整理整頓については、職員が定期的に巡回を行い、管理している。

議員 現在の利用状況で問題点はないか。
基盤整備課長 自転車の盗難は年に数件発生している。その対策として昨年は警察と連携し自転車盗難対策キャンペーンとして、鍵かけ意識の醸成を図るために、自転車の施錠の

呼びかけやチラシ、グッズの配付を行い、併せて駐輪場の状況や放置自転車の確認を行なった。

議員 自転車駐輪場は、毎日の通勤や通学で、使用するものである。庁舎にも建設当初から玄関入口付近に自転車用スタンドが設置されている。自転車用スタンドの設置には、自転車の盗難をはじめ、管理や周辺の環境美化等の効果もあり、江北駅に改名と同時に、自転車の専用スタンドを設置してほしい。



自転車用の専用スタンド

街灯を県道江北芦刈線まで延長してほしい

基盤整備課長 県に設置を促すことも町からしていく

議員 町が街灯を設置する条件とは。

基盤整備課長 自動車交通量及び歩道等の利用者数の多い区間で、信号機が設置された交差点、または横断歩道、夜間の交通上、特に危険な箇所となっている。しかし、街灯は道路を明るく照らす一方で、近隣居住者のプライバシーの問題や農作物への生育障害などの悪い影響も考えられるため、新たに街灯を設置する場合は、地元からの要望を条件とし、隣接地所有者の方の同意が必要となる。

現在、町が設置している街灯は、道路照明

灯で75基、街路灯で58基の133基である。

議員 児童・生徒の登校や健康づくり、見守り活動等で利用されている方。また、農作業で暗くなるまで作業されている方の作業の安全のためにも、宿南から馬場北を通って芦刈町との境界まで、今年度設置されたソーラーパネル式の防犯灯を設置してはどうか。

基盤整備課長 条件が整えば、県道江北芦刈線に設置の要望をすることは可能である。現在、宿南交差点から小城市の境界までの区間は街灯がついていない。これは町道沿線



今年度、設置された街灯



街灯がない歩道区間

の農地に対する農作物被害への配慮がされていると考えている。みんなの公園から木材市場までの道路については全線街灯が設置された。全線明るくなり、ウォーキングされている方がいる。江北芦刈線もウォーキングをされている方がいるが、懐中電灯を利用されている。暗い中でウォーキングの方が多かったり、学生の通学が多かったりした場合は、県に街灯設置を促すことも町からしていく必要があると思う。

総務常任委員会

問 職員の長期病休や早期退職がここ数年めだつてきているが、職員が病休に入るまでの協議はどのように行っているのか。

総務政策課長 心身の状況で病院の受診が必要な場合は、受診を勧め、専門家の判断を仰ぐことになっている。役場にも産業医がいるが専門外になる場合は、専門の医療機関を勧めている。

問 社会資本整備総合交付金約300万円の減額理由は、

財政係長 内示額の変更によるもの。事業を実施しなかったことによる減額ということではない。

問 寄附金について使途の指定があったのか。

総務政策課長代理 一般寄附で使途の指定はない。

問 通学路安全対策事業は、門前川線だけか。

財政係長 上惣〜新渡線など複数路線が含まれている。

問 庁舎1階の男子トイレの洋式化の状況は。

行政係長 庁舎の1ヶ所は洋式化を行っているが、公民館側の男子トイレはまだ済んでいない。

問 密を避けるためにも確定申告の電子申告は推進しているのか。

町民生活課長 昨年度、来庁して申告をした人の人数が減っていることから電子申告は浸透してきている。電子申告の推進については、武雄税務署と共同で行っており、スマホ申告の説明会を開

催する等電子申告の周知を行なっている。

問 小学校のトイレ改修について、当初計画は受水槽工事となっていたが、なぜトイレ工事に変更になったのか。

こども教育課長 今年度の予算については受水槽工事を計画していた。設計の入札を行ったが不落下りトイレだけはやりたいたの事で別棟2棟の新

設となった。受水槽は部分的に補修をしなければ今後も管理が可能であり、全部を新しくする必要はなかった。

問 受水槽はいつ工事をを行うのか。

学校教育係長 今後の小学校の方針が定まり次第の対応になる。
問 小学生が使用するトイレなので、こどもの目線を第一に考え新設して欲しい。

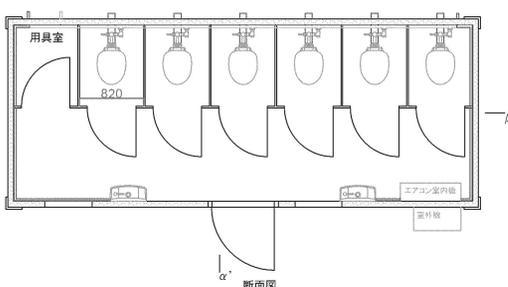


老朽化が進む受水槽

こども教育課長代理 こども達の要望を取り入れたきれいで快適なトイレを作っていく。



トイレの設置が待たれる小学校



トイレ改修イメージ

一昨年8月に発生した龍澤寺の豪雨災害、今年度も同様の地すべり被害が発生しました。

総務常任委員会では、現地視察を実施いたしました。自然災害はいつ、どこで発生してもおかしくない状況にあります。対策できるものについては、しっかりと対策をとっていく必要があります。

委員会視察



8月豪雨の爪痕

産業厚生常任委員会

問 佐賀段階米・

麦・大豆競争力強化対策事業は、今回、県の補助が2分の1だが、以前は3分の1だったと思う、それで間違いないか。また中山間地域の地区は。

地域振興課長 通常

米・麦・大豆は、県の補助は3分の1。今回は中山間地域として補助率のかさ上げをしていくので2分の1。また中山間の地区は、岳・上区・観音下・白木・門前・花祭。

問 営農再開樹勢

回復事業の件で大豆は、対象になっていない。どの地区も水害だけではなく、大豆については収量が少ないと聞いている。大豆は適用されないか。

農政係長 今回予算計上させてもらっている

る事業の水稲・大豆版があります。現在、共済組合に照会をかけ、おり、収穫なりを確認して次期作にかかる種子等の支援として3月補正を考えている。

問 駅北側のトイレ

改修の件だが、現状、南側に男子トイレ、北側に女子トイレがあるが、今回の改修で男女が入れ替わる設計になっている。女子トイレの南側の設置については、暗く、防犯上好ましくないのでは。

基盤整備課長代理

現在も警報等がついてはいるが、少し暗いのでセンサーライトを設置するとかエキキタショップの店舗の方を巡回等をお願いできないか、そ



改修される肥前山口駅北口トイレ

ういった所から防犯に取組んでいきたいと考えている。

問 みんなの公園に

は子供達も多く立ち寄る。派出所も近くにあるが、巡回はされているか。されているならば目立つところに警察官立寄り所の看板を設置できないか。

基盤整備課長代理 巡回

はされている。看板設置については協議させ

ていただく。

問 児童手当の特

例給付対象者が減少し、給付予算を減額したのは、コロナが影響したとのことだが、どんな影響か。

健康福祉課長 特例給

付の対象者の中には農業を大規模でされている方もいる。コロナの影響で農産物の需要が減少、また8月の豪雨災害被害により収入が思うように入らなかったといったことが要因で、所得額が減少している事案がある。令和3年6月の現況届で所得額を調査した結果、特例給付対象者数についてある程度人数の確認ができた為、予算を今回減額補正する。

問 こどもの医療費

助成金事業予算を約800万円増額補正しているが、増加の要因は。

健康福祉課長 未熟児

の入院が長引いたケースがあり、そのため医療費が上がったのが主な要因である。また、ここ数年、小中学生が成長痛や部活等で痛めて通院するケースが増えている。病院での自己負担は、一律500円のため受診が増え、医療費の増加につながった。

問 コロナウイルス

ワクチン3回目接種は、2回目の接種後8か月経過すると接種できるが、対象者への通知の方法は。

健康福祉課長 8ヶ月

を経過する前月に通知をする。例えば令和4年1月に接種できる方については、前月10日前後に通知を行っている。送付する接種券の右上に何月何日以降接種できると案内があるので、それ以降の日付で予約をしていた

問 今後、接種済証明書がないと入場等ができないといったケースが増えてくると思うが、紛失した場合は。

健康福祉課長 紛失し

た場合、健康福祉課で証明ができる。マイナンバーカード所持者は、令和3年12月末にアプリで接種状況の証明ができるようになる。QRコードを読み込ませれば接種証明となる。

マイナンバーカード発行等については、町民生活課で対応する。



- 取得の手順**
- 12月20日以降、スマートフォンでアプリをダウンロード
 - マイナンバーカードをかざし、暗証番号を入力して申請
 - QRコード付きの電子証明書が交付

ワクチン接種の電子証明書イメージ

行政視察研修

総務常任委員会

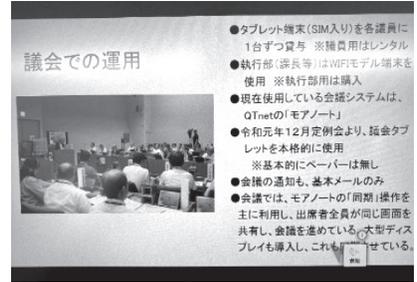
11月22日

【有田町議会】



有田町議会議長から説明を受ける

議会でのタブレット端末を導入されている有田町議会へ行政視察を実施した。研修内容として、導入までの経緯、議会での運用方法、経費状況、導入の効果について説明を受けた。タブレットの導入効果としては、紙や印刷代のペー



議会でのタブレット運用の様子

パース化による経費削減、会議資料等の作成上の負担軽減や閲覧等の業務の効率化が図られているとの説明を受けた。本町でのタブレット導入へ向けての第一歩としていきたい。

産業厚生常任委員会

10月20日



町道花祭村内線の被害状況（江北町）

本町の花祭地区で発生した地滑りの状況、大町町、嬉野市で発生した災害等について現地視察を実施した。近年、激甚化・頻発化している豪雨災害。人命・財産を第一優先に取り組んでいきたい。



豪雨被害についての説明を聞く

条例改正

一、江北町職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例（全会一致で可決）



市道永尾線の地すべり状況（嬉野市）



大船地区の地すべり状況（嬉野市）

議長交際費支出状況
(令和3年10月～12月支出)

項目	件数	支出額
その他	1	1,310円
合計	1	1,310円

議長が町議会を代表し、対外活動等のために支出した交際費を公表します。

議長交際費の公表

一、江北町国民健康保険条例の一部を改正する条例（全会一致で可決）
一、江北町国民健康保険条例の一部を改正する条例（全会一致で可決）

白木パノラマ孔園が熱い

近年のキャンプブームにあやかり、白木パノラマ孔園が人気だ。施設もきれいに整備され、県外からの来客も多い。広いテントサイト、コテージ、ピザ窯等があり家族連れや友人、ソロキャンプなど幅広く利用され、YouTubeでも多数紹介されている。

※お問い合わせ

佐賀のへそ・ふれあい交流センター ネイブル

電話番号 0952-71-6321



編集後記

コロナ禍の影響も相まって、キャンプブームが続いている。

江北町の白木パノラマ孔園は、土日祝日は三月まで予約で埋まっているそうだ。最近では、ソロキャンプの割合が高く、日常生活の様々な縛りから離れて自分らしく過ごしたいという欲求があるのだと思う。もう一つは、五感が鋭くなるという感覚。自然の中で五感を研ぎ澄ますことは、逆にその後の癒しやリラククス効果にもつながるそうだ。

デジタル化が進む中、私達が五感を使う機会は徐々に減っている。五感を使うことで人間本来の感覚や感受性を生み、メンタルヘルスにつながっていくのかもしれない。(金丸)

議会広報委員会

委員長 池田 和幸

副委員長 三苫 紀美子

金丸 祐樹

江頭 義彦

石津 圭太